

講義名	政治学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	村上 友章		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

この授業はオンデマンド型である。内容としては、政治学と政治史に関わる基本的な知識を学習してもらう。講義の前半では、「国家と民主政治の発展史」と題して、近代の市民革命以降の国家と政治の歴史を概説し、現在私たちが目にする国家の構造や政治の仕組みがどのようにして形づくられてきたかを明らかにしていく。また、そのなかで国家、権力、市場、公共性、民主主義、自由主義など政治学の基本概念についても解説する。後半では、「現代政治の諸問題」と題して、現在の政治が直面しているさまざまな問題をトピックに取り上げ考察していく。そのなかで、従来の政治の仕組みや制度を支えてきた理念や考え方が、今日どのような意味で問い直しを迫られているのかを考えてみたい。

**到達目標**

- 政治学の基本的な概念やキーワードについての正確な知識を習得すること。
- 選挙制度や政党、地方自治など現代の政治を支える制度的な仕組みについて正確に理解すること。
- 今日私たちが直面している政治的な諸問題が、どのような歴史的背景から生じているのかを理解すること。
- 政治学の基本概念を用いて、現在の政治的諸問題について考察し、自分なりの立場や見解を説明できるようになること。

**提出課題**

- 基本的に毎回、予習として教科書の該当箇所および関連する新聞記事を読み、あらかじめ指示された問題を解く。それらをPortal（またはレスポンス）を通じて授業当日までに提出してもらう。
- さらに授業動画を視聴し、新たに発見したこと等を復習としてPortal（またはレスポンス）を通じて次回授業当日までに提出してもらう。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

予習の問題については、授業動画にて答えを解説する。

**評価の基準**

評価は、予習・復習（50%）と期末レポート（50%）を合算して行なう。教科書および講義で説明された内容が正確に理解できているかどうか、そのうえで自分なりの立場や見解が論理的に説明できているかどうか、評価の基準となる。

**履修にあたっての注意・助言他**

上記の予習は必ず行って参加することになる。

教科書	はじめて出会う 政治学、	北山俊哉ほか	有斐閣	1638	978-4641123687
-----	--------------	--------	-----	------	----------------

**プリント資料及び参考文献**

授業ごとに適宜、配布する。

**授業計画**

国家と民主政治の発展史

- 第1回：市民革命と近代国家の成立
- 第2回：近代市民社会の構造
- 第3回：近代主義と国家
- 第4回：ナショナリズムと国民国家
- 第5回：民主主義の発展
- 第6回：総力戦体制と国家活動の拡大
- 第7回：福祉国家の形成と発展
- 第8回：グローバル化と新自由主義

現代政治の諸問題

- 第9回：民主主義と選挙制度
- 第10回：民主政治のなかの政党の役割
- 第11回：官僚制の問題
- 第12回：中央＝地方関係と分権化
- 第13回：社会運動と政治
- 第14回：ジェンダーと政治
- 第15回：アイデンティティと承認の政治

定期試験

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

- 予習に2時間、復習に1時間を当てることとする。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

- 履修生のリクエスト等に応じて、授業計画は柔軟に変更することもありうる。